

## 5 月 20 日の海外金融市場の動向について

5 月 20 日の海外金融市場では、欧州の財政危機を発端とした投資家のリスク回避行動が続き、相対的にリスクの高い資産である株式をはじめ、資源国通貨や新興国通貨などが大幅に売られました。

アジアの株式市場は、ユーロ圏の景気減速への懸念や、中国当局による不動産市場の鎮静化を狙った新たな対策に対する懸念が根強く、投資家のリスク回避姿勢が続いたことから、主要市場で下落しました。上海総合指数は前日比で 1.2%、ハンセン指数は同 0.2%、ジャカルタ総合指数は 1.3% の下落となりました。

欧州株式市場でも、アジアの株安の流れを引き継いだうえ、ドイツによる国債の空売り規制がフランスなど他のユーロ圏諸国との調整なしに導入されたことが明らかになったことで、逆に同国の金融機関に対する信用不安が高まり、大幅安となりました。主要株価指数では、英国の FT100 指数は 1.6%、ドイツの DAX 指数は 2.0%、フランスの CAC40 指数は 2.3% の下落となりました。

米国株式市場は、ギリシャの財政危機を発端とした信用不安が広がっていることに加え、米新規失業保険申請件数が市場予想に反して増加したことや、金融規制の強化に向けた法案が成立する見通しが強まったことなどから全面安となりました。ニューヨーク・ダウ工業株 30 種平均の終値は前日に比べて 376 ドル 36 セント下落し、終値ベースで今年最大の下げ幅となりました。

外国為替市場では、ユーロ圏諸国の財政問題を背景としたリスク回避の流れが続き、資源国通貨や新興国通貨に対して安全資産としての円が買われる展開となりました。円は主要通貨に対しても買われ、対米ドルで 1 ドル = 90 円台を割り込み、一時 88 円台を付けました。対ユーロでも円は買い進まれ、一時 1 ユーロ = 109 円台と、2001 年 11 月以来、約 8 年 6 ヶ月ぶりの円高水準まで上昇しました。

<ご参考>

【株価指数の動向】

株価指数	5月19日終値	5月20日終値	変化率
アジア株式市場			
上海総合指数(中国)	2,587.81	2,555.94	-1.2%
ハンセン指数(香港)	19,578.98	19,545.83	-0.2%
ジャカルタ総合指数	2,729.48	2,694.25	-1.3%
欧州株式市場			
FT100 指数(英国)	5,158.08	5,073.13	-1.6%
DAX 指数(ドイツ)	5,988.67	5,867.88	-2.0%
CAC40 指数(フランス)	3,511.67	3,432.52	-2.3%
米国株式市場			
ダウ工業株 30 種平均	10,444.37	10,068.01	-3.6%
S&P500 種株価指数	1,115.05	1,071.59	-3.9%
ナスダック総合指数	2,298.37	2,204.01	-4.1%

※海外の株価指数は5月20日と5月21日の基準価額計算に対応する現地日付の終値です。

【為替レートの動向】

為替レート	5月20日評価値	5月21日評価値	変化率
ドル/円	91.87	89.96	-2.1%
ユーロ/円	113.41	112.72	-0.6%
豪ドル/円	77.77	73.66	-5.3%
インドネシア・ルピア/円	1.01	0.98	-3.0%

※為替レートは投資信託協会公表の評価レートを表示しています。

(出所)ブルームバーグ

以上